

会議録

日時	令和5年4月25日(火) 14:00~16:00														
場所	総合文化センター 視聴覚室														
件名	令和5年度 第1回社会教育委員会定例会														
出席者	社会教育委員:小栗正敏、加藤一哉、湯原定雄、渡邊啓介、松浦大哲、岩島留美子、安藤裕子、有賀秀雄、伊藤孝一、浅沼克郎、有賀雅美 欠席:なし 市関係者:伊藤慶和(教育長)、小栗茂(中央公民館長)、奥谷ひとみ(社会教育課長) 事務局:藤井志保(社会教育課課長補佐)、川畑篤仁(同主査)														
議題	<p>1 委嘱状の交付(瑞浪市教育委員会より)</p> <p>2 挨拶 瑞浪市教育委員会 教育長</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 社会教育委員会代表及び副代表の選出(互選) 互選により、代表に有賀秀雄委員、副代表に伊藤孝一委員と決定した。</p> <p>5 代表挨拶</p> <p>6 社会教育委員の役割(事務局)</p> <p>7 県・東濃・市の方針と重点(事務局)</p> <p>8 充職役割分担(案)</p> <table><tr><td>・社会教育振興協議会県評議員</td><td>有賀秀雄 委員</td></tr><tr><td>・青少年育成市民会議専門部会部会員</td><td>渡邊啓介 委員</td></tr><tr><td>・美術展運営委員</td><td>松浦大哲 委員</td></tr><tr><td>・図書館協議会委員</td><td>岩島留美子 委員</td></tr><tr><td>・点検評価委員</td><td>浅沼克郎 委員</td></tr><tr><td>・人権施策ネットワーク委員</td><td>安藤裕子 委員</td></tr><tr><td>・教育振興基本計画推進委員</td><td>安藤裕子 委員</td></tr></table> <p>9 令和5年度の研究テーマについて 「瑞浪市の地域学校協働活動の推進について」 意見 4つの小学校で地域学校協働活動推進員と学校運営協議会の会長を兼ねている。率直に大変ではないか、と感じた。このような地域の事情も研修テーマになるかとも思う。 意見 各地域の実践の在り方について我々は知らないので、各地域に調査していく、という事務局の提案だと思う。限られた会議の中で各地域の活動の利点や問題点を洗い出して、何らかの結論を</p>	・社会教育振興協議会県評議員	有賀秀雄 委員	・青少年育成市民会議専門部会部会員	渡邊啓介 委員	・美術展運営委員	松浦大哲 委員	・図書館協議会委員	岩島留美子 委員	・点検評価委員	浅沼克郎 委員	・人権施策ネットワーク委員	安藤裕子 委員	・教育振興基本計画推進委員	安藤裕子 委員
・社会教育振興協議会県評議員	有賀秀雄 委員														
・青少年育成市民会議専門部会部会員	渡邊啓介 委員														
・美術展運営委員	松浦大哲 委員														
・図書館協議会委員	岩島留美子 委員														
・点検評価委員	浅沼克郎 委員														
・人権施策ネットワーク委員	安藤裕子 委員														
・教育振興基本計画推進委員	安藤裕子 委員														

導くことが必要。社会教育委員会の視点から「このようにしていけばいいですよ」という意見を出していければ。

意見 「瑞浪市の地域学校協働活動の推進について」というテーマで大枠は問題ないが、調査研究の柱を何とするか。例えば明世地区はホテルの生育事業で地域と学校が取り組んできた実績があって、このことについて社会教育委員会の立場から調査をして成果や課題を述べることはできると思う。

意見 瑞浪市地域学校協働活動推進員設置要綱をきちんと知っておかないと調査と言っても議論が進んでいかないと思う。高齢化がますます進む中で地域の課題を解決できるような研究ができるといいと思う。

意見 地域学校協働活動も立ち上げたばかりで紆余曲折している地域がほとんどだと思う。瑞浪市の地域学校協働活動推進員は、人々の意見を方向付けていくファシリテーターとしての役割が求められるのではないかと考える。地域の意見が定まってきたらコーディネーターとしての地域学校協働活動推進員が必要になってくると思う。いま現在各地域の推進員がどのような役割を担っているのか調査研究することができるのではないかと考えている。

意見 社会教育委員会で以前にコミュニティースクールについて調査研究しており、各学校運営協議会でも社会教育委員が参加するようになっていのもう一歩進んだ意見を出すことができれば。

意見 今年度の調査研究で情報収集して、良い点や課題をまとめることで、学校運営協議会で社会教育委員が提示して各地域に還元することができる。

意見 例えば瑞浪北中学校で言うと、5地区の小中学校区が集まっているため、小学校の活動と比較して地域と中学校との関わりが見えづらいつ感じの部分もある。各中学校での活動の本格化はまだこれからということも踏まえ、この社会教育委員会の調査研究を中学校の学校運営協議会でも還元できるとよい。

〈協議結果〉

資料のとおり「瑞浪市の地域学校協働活動の推進について」をテーマとし、「地域学校協働活動の推進がどのように図られているか」、「人づくりや地域づくりにどのように関わってもらえるといいのか」について、各地域や学校にフィードバックできるよう調査研究を行うこととする。

10 令和5年度の活動計画(案)

資料(案)のとおりとする。

11 その他(研修に係る情報提供)

地域学校協働活動研修会(5/31(水)web)

地域学校協働活動推進員等育成研修(6/29(木)、8/31(木)、10/5(木)、11/30(木))

地域学校協働活動推進員等フォローアップ研修(6/20(火)、1/25(木))

12 閉会の言葉(副代表)